

# 特攻の史実を 後世に残す⑬

## 出撃直前に書いた遺書

四宮 徹 少佐

出身地 熊本県熊本市  
第19振武隊 (享年22歳)

知覧特攻平和会館では、「知覧からの手紙」(知覧特攻遺書)を、平和を願い、知覧から世界へ語り継ぐため、ユネスコ世界記憶遺産登録を目指しています。

四宮少佐は、東京の上空を守っていた震天征空隊の隊長をしていた方で、敵のB29に体当たりし墜落させ、自分は片方の翼が3分の1ぐらい折れた状態の飛行機で無事基地まで戻ってきたパイロットでした。

その四宮少佐も特攻隊の命を受けました。出撃当日、震天征空隊の隊長が出撃することと、多くの新聞記者が取材に来ました。この遺書は出撃直前に400mぐらい先の自分の乗る飛行機に行くまで歩きながら書いた最期の遺書です。



母上、兄上様  
只今より出撃致します。  
実に喜び勇んで居ります。丁度 小学校時代の遠足を思ひ出します。どんな獲物があるかと胸をわくわくさせて待つて居ります。決意とか覚悟とか云う様な こだわりは少しもなく本当に全員純真無邪気です。小学校に通学する朝「行って参ります」と云って出かけた事を思ひ出します。本当に嬉しさで一パイです。デハ「行ッテ参リマス」御機嫌よう。

天長の月あび勇む  
必勝行 徹

# お茶プラス6杯運動

お茶の健康増進効果に

関する研究を実施します

国内最大のお茶の産地である本市は、お茶の消費拡大と併せて市民の健康増進を目的に、緑茶の健康増進効果の実証を行い、その結果に基づいて科学的に検証・評価を行います。

計画では、団体や企業などから200人の方をモニターとしてお願いし、日ごろ飲んでいるお茶にプラス6杯の量を8月から10月までの3カ月間毎日飲んでいただきます。飲用前後の血液検査や計測などを実施し、鹿児島大学などの協力を得て、各種データの比較を行い、検証結果をまとめます。

市では、この運動により、お茶の健康への効果を評価し、将来的には医療費の縮減につながるものと期待しています。

モニターの方へは、  
飲用する緑茶と急須など市が  
提供します。  
ご協力よろしく  
お願いします。

